

展示室1・2・3

※展覧会名、会期、内容等は変更になる可能性があります ※詳細はHPで順次発表いたします

備前市美術館コレクション展

Bizen City Museum of Art Collection Exhibition

I. 2026年3月14日(土)～6月21日(日)

当館珠玉のコレクション作品を紹介します。I.では金重陶陽や富本憲吉など近現代陶芸史に名を残す著名作家をはじめ、現代備前を率いる作家や、各窯業地で活躍する作家らの作品など約60点を展示します。本展を通して近現代陶芸の多様な表現をぜひお楽しみください。

島村 光《群雀》2024年 / 備前市美術館蔵

展覧会の会期・内容が変更となりました。
詳細は公式HPでお知らせいたします。

II. 2027年1月9日(土)～4月11日(日)



ティーカップ・メリーゴーラウンド

岐阜県現代陶芸美術館コレクション

ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年

TEACUP MERRY-GO-ROUND

100 Years of the European Modern Ceramic Design from the MoMCA Collection

2026年7月4日(土)～9月27日(日)

19世紀半ばから20世紀半ばまでの約100年間に焦点を当て、ドイツのマイセン、フランスのセーヴル、イギリスのミントン、デンマークのロイヤル・コペンハーゲン、フィンランドのアラビアなどのティーウェアやコーヒーウェアを中心に室内装飾品などを加えた陶磁器の名品をご紹介します。

上) マイセン《花飾ティーセット》19世紀後半 / 岐阜県現代陶芸美術館蔵
下) セーヴルティーセット《クラウドッド・ブルー》1876年 / 岐阜県現代陶芸美術館蔵



セラミック・レゾナンス

Ceramic : Resonance

2026年10月10日(土)～12月20日(日)

現代の陶芸・工芸シーンにおける最新の動向や作家による独自の表現を、備前市美術館ならではの視点で紹介する企画展「セラミック・レゾナンス」。暮らしに寄り添う食器から備前陶芸の可能性を拓ける挑戦的な作品まで、素材や技法のほか活動拠点や世代も異なる作家の作品が、ここ窯業地・備前で響き合います。

上) 宮本果林《光さす》2025年 / 個人蔵
下) 森本仁《palm》2025年 / 個人蔵



歴史展示室

入場無料

館蔵品の他、窯跡からの出土品や地域の近代産業に関わる資料を展示しながら、備前焼の歴史を紹介します。



展示室0

入場無料

様々な美術・芸術活動の発表の場。開催中の展示情報はHPをご覧ください。



茶室「壺々庵」

茶室では毎月お茶席を開催。お道具やお作法の知識は不要でどなたでもお気軽に体験できます。詳細はHPをご覧ください。(日英対応可能)

